

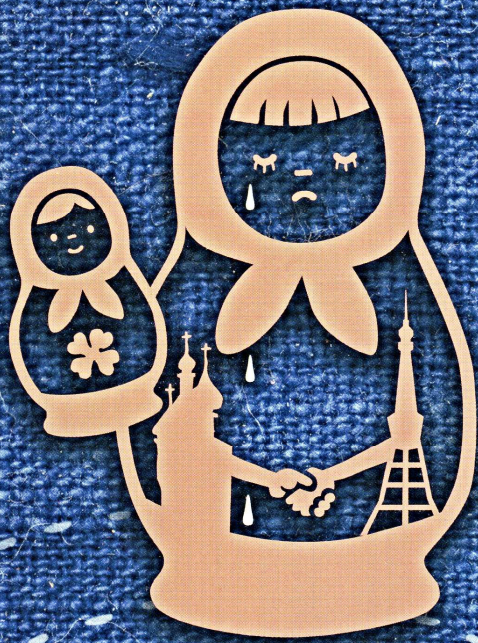
2015

4月5日(日)

上映会+オーガニック・マルシェ
ゲストトーク 鎌仲ひとみ



はじめはみんな、泣き虫な
フツィのお母さんでした



「六ヶ所村ラプソディー」「ミツバチの羽音と地球の回転」の鎌仲ひとみ監督最新作!
福島——チエルノブイリ
国境を超えて
「被ばく」から子どもを守る
母たちのドキュメンタリー

小さき声のカノン

— 選択する人々

監督:鎌仲ひとみ プロデューサー:小泉修吉 音楽:shing02 撮影:岩田まきこ 製作:ぶんぶんフィルムズ 2014年/カラー/デジタル/119分

11:30… マルシェスタート

12:30… 1回目上映

14:30… 休憩

14:40… 鎌仲ひとみ監督トーク

16:00… 2回目上映

18:00… マルシェタイム

18:30… 閉会

ところ 西鉄イン福岡大ホール(福岡市天神1-16-1)

参加費 前売 1500円(当日1800円) 避難者割引 1200円

チケット取扱 ナチュ村(天神イムズ店 092-791-7365 千早店 092-672-5576)、望雲(中央区 092-733-1135)、
ポップコーヒーズ(東区 092-605-0155)、オーガニック広場ひふみ(古賀市 092-944-5755)、
オーガニックカフェterra 小屋(北九州市 093-742-6655)、えこわいず村(北九州市 093-617-2444)

問合・予約 tampop@wmail.plala.or.jp f-info@npo-kibo.jp 070-5813-3307(山中) 090-9076-2868(古瀬)

主催 「小さき声のカノン」上映実行委員会
(放射能市民測定室・九州、NPO法人たんぼぼとりで、もやいバンク福岡、池天平と手づくり政治プロジェクト)

マルシェ オーガニックマルシェ 参加予定(ポップコーヒーズ、わくわく工房、ウインドファーム、エヴァ
ダイニング、ゆるり草、ナチュ村、望雲、雑貨アメリ、アリエッタほか)

4月6日(月)13:30~ 鎌仲ひとみ監督トークイベントin糸島 開催

小さき声のキャン

— 選択する人々



『六ヶ所村ラブソディー』『ミツバチの羽音と地球の回転』の
鎌仲ひとみ監督最新作！
福島、そしてチェルノブイリ後のベラルーシ。
母たちは、“希望”を選択した。

東京電力福島原発事故から4年。事故による影響は安全である・危険であるといった議論からこぼれ落ちる声が存在している。

それは不安な気持ちを抱えたお母さんたちの声だ。

かつてチェルノブイリ原発事故を経験したベラルーシでは、子どもたちに何が起きたのか。お母さんたちはどうやって子どもを守ろうとしたのか？

福島とチェルノブイリとの時間差は25年、今なおその影響が続いていることは、実は知られていない。日本のお母さんたちと同様、不安を抱いたお母さんたちが大きな声に流されることなく、直感にしたがって子どもたちを守る道を探し続けている。

事故の衝撃に立ちすくみ、ただ困惑している時期は過ぎた。

希望を具体的につくり出す新しいステージに今、私たちは立っている。迷いながらも日本のお母さんたちが自分たちの意志で動き始めた。そんなお母さんたちの小さな声が、国境を越えて響き始める。

監督・鎌仲ひとみ プロデューサー：小泉修吉 音楽：shing02 撮影：岩田まきこ 製作：ぶんぶんフィルムズ
2014年/カラー/デジタル/119分 www.kamanaka.com/canon

鎌仲ひとみ

映像作家。多摩美術大学非常勤講師。京都造形芸術大学客員教授。早稲田大学卒業と同時にドキュメンタリー映画制作の現場へ。1990年最初の作品「スエチャおじさん」を監督、同年文化庁の助成を受けてカナダ国立映画制作所へ。95年帰国以来、フリーの映像作家としてテレビ、映画の監督をつとめる。2006年「六ヶ所村ラブソディー」は国内外800ヶ所で上映。2010年「ミツバチの羽音と地球の回転」も全国700ヶ所での上映に加え、海外でも上映が進んでいる。2011年度全国映連賞・監督賞受賞。



会場アクセス



地下鉄空港線・箱崎線 中洲川端駅『中洲口2番出口』より徒歩約3分
地下鉄空港線 天神駅『東口12番出口』より徒歩約3分
博多バスターミナルより 西鉄バスで約10分
西鉄100円バス乗車『市役所北口』より徒歩約1分

鎌仲ひとみ監督トークイベント in 糸島
4月6日(月)13:30~16:30(13:00開場)

場 所 RISE UP KEYA (糸島市志摩芥屋1037-1)
参加費 1500円(1ドリンク付き)
問合せ 080-5081-1680(ふじい) マルシェ開催あり